

(別紙様式1)

令和2年度学校評価実施計画

学校名	大分県立高田高等学校
-----	------------

前年度評価結果の概要	<p>○授業アンケートでは達成指標を越えるなど、授業改善が進み、生徒の思考の深まりがうかがえた。</p> <p>○総合的な探究の時間における地域学などで内容の充実や生徒の地域行事に対する積極的な参加もみられ、深化が認められた。</p> <p>○広報活動についてはHPの多くの更新や青鷹の夢の毎月の発行など推進が図られた。</p> <p>○挨拶と身だしなみ指導や生徒会によるスマホ利用の自主規制、人権ホームルーム活動の充実などの取り組みは成果を挙げた。</p> <p>●授業改善は進んでいるが、自主的・計画的に試験勉強等を進めている生徒の割合が低いことが課題である。</p> <p>●目標学習時間の未達成やシステム手帳の活用に対する有効的な働きかけが課題である。</p> <p>●家庭学習やシステム手帳等の学校の取り組みに対しての保護者への広報活動や周知の徹底が課題である。</p> <p>●多欠席生徒の増加と関係機関との連携が課題である。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
「気力・気節・気尚」の“三気の校訓”のもと、志高く、高潔な人格と見識を備え、心豊かで自主的精神にあふれた、心身ともに逞しい人間を育成する。	<p>○学習活動とキャリア教育の充実により、将来を見据えた進路希望の実現を図る</p> <p>○地域課題の解決に寄与する人材を育成する</p> <p>○特別活動の一層の充実により、人間力・競技力を向上させる</p>	<p>1 「気力」 自律した学習習慣の確立と主体的・対話的で深い学びの実現</p> <p>2 「気節」 地域創造に向け課題を発見し解決する姿勢と主体的に取り組む意志の醸成</p> <p>3 「気尚」 人権尊重の意識と品格を備えた健やかな心身の育成</p>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1 「気力」 自律した学習習慣の確立と主体的・対話的で深い学びの実現	<p>①「私は授業に意欲的に取り組んでいる」生徒80%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>②「私は授業中の活動や考査の問題を通して、学習内容について考える時間が増えている」生徒80%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>③「試験勉強を計画を立てて行っている」生徒70%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>④平日学習時間(平常時)4時間以上4%、2時間以上30%(考査前)4時間以上8%、2時間以上45%</p> <p>⑤「私は将来の目標についてよく考えている」とする生徒75%以上(学校評価生徒アンケート)</p>	<p>⑦生徒の意欲を引き出す授業の実践と「思考力・判断力・表現力」を育む問題の作成</p>	<p>①授業改善のための指導主事招聘研究授業(各教科1回以上、10月末まで)・互見授業の実施(年2回)授業検討会、中高連携推進授業の実施(5教科)と「思考力・判断力・表現力」を問う考査問題の問題の検討と共有。</p>	<p>PL: 指導教諭 SL: 教務主任 各教科主任、各学年主任</p>
		<p>④授業内容の定着と計画的な学習習慣の確立のための具体的な学習方法(システム手帳)の提示</p>	<p>②教科の学習方法並びにシステム手帳の使用方法についてのオリエンテーションの実施(学期のはじめ)。1年生に対しては年度当初にも学年全体で説明。・定期考査2週間前に範囲と時間割を提示。システム手帳にポートフォリオの記入(行事ごと)・重点週間の設定・全校集会等におけるの活用・学年を中心とした活用の推進</p>	<p>PL: 教務主任 SL: 各教科主任、各学年主任</p>
		<p>⑨学習時間の増加と進路意識の育成</p>	<p>③学習時間調査の実施(考査前3回(6月、11月、2月)と平常時2回(4月、9月)の年5回)と学力検討会での調査結果の課題と対策の共有(年3回)、1・2学期に進路研究の実施(各3回)</p>	<p>PL: 進路指導主任 SL: 各学年主任</p>
2 「気節」 地域創造に向け課題を発見し解決する姿勢と主体的に取り組む意志の醸成	<p>①「総合的な探究(学習)の時間の活動に積極的に取り組んでいる」1学年80%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>②生徒会活動が活発と感じる生徒80%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>③学校行事(文化祭・体育大会)満足度80%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>④「地域(イベント・清掃・自主活動・各種ボランティア)に何らかの関わりをもって参加することができた」生徒60%(学校評価生徒アンケート)</p> <p>⑤高田高校の情報は、「ホームページ・青鷹チャンネル・青鷹の夢を通して、適宜伝えられている」とする保護者の平均値80%以上(学校評価保護者アンケート)</p>	<p>⑦1年次の総合的な探究の時間の充実</p>	<p>①「職業人インタビュー」の取組(1学期5回)、「地域学」の取組(2学期7回)、「小論文」の取組(3学期3回)</p>	<p>PL: 進路指導主任 SL: 各学年主任</p>
		<p>④生徒会活動の活性化と学校行事・ボランティア活動への積極的参加促進及び地域での生徒活躍の場の拡大</p>	<p>②生徒会による全校集会(月1回の実施と活動参加への呼びかけ)、地域行事(祭り、福祉的行事)及び地域活動(寺子屋講座・子ども食堂等)ボランティア(ゴミO運動[1学期]、ふるさと清掃[2学期])等への積極的参加と学校HP等での取組状況の紹介</p>	<p>PL: 特別活動主任</p>
		<p>⑨効果的な広報活動を通じた地域との連携強化</p>	<p>③学校HPの週3回以上の更新(Facebookも連動)、「青鷹チャンネル」2月1回発信、近隣の中学校向け広報紙「青鷹の夢Jr.」の月1回、生徒・保護者向け広報紙「青鷹の夢」2月1回以上発行</p>	<p>PL: 総務主任 SL: 特別活動主任</p>
3 「気尚」 人権尊重の意識と品格を備えた健やかな心身の育成	<p>①「私はスマートフォン・携帯電話の自主規制を守っている」とする生徒60%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>②「スマートフォン・携帯電話の利用について、家庭で話し合いの場を持った」とする保護者80%以上(学校評価保護者アンケート)</p> <p>③「常に交通ルールに気をつけて登下校を行った」とする生徒90%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>④「困ったことを先生に相談しやすい」生徒の割合が60%以上(学校評価生徒アンケート)</p> <p>⑤生活習慣が確立しているとする生徒70%以上(学校評価生徒アンケート)</p>	<p>⑦スマートフォン・携帯電話の使用時間や情報モラルについての指導と保護者の協力体制の強化</p>	<p>①生徒会による自主規制の呼びかけ、状況調査と還元、集会時の生徒への呼びかけ、PTA総会(5月)や成績発送、青鷹メールを利用した保護者への呼びかけ、ネットモラル講演会(1学期)の実施</p>	<p>PL: 生徒指導主任 SL: 各学年主任、特別活動主任</p>
		<p>④交通ルールを遵守させ、「命の大切さ」を理解する指導と生徒会を中心とした啓発活動の実施</p>	<p>②PTA・生徒会・職員による合同登校指導の実施(各学期に1回)・始業式での指導(年3回)生徒会による集会時や登校時の呼びかけと交通講話の実施(2学期)</p>	<p>PL: 生徒指導主任 SL: 各学年主任、</p>
		<p>⑨相互理解を深め、いじめや差別をなくす実践力のある生徒の育成</p>	<p>③教職員のチェックリストの実施(各学期1回4月・9月・1月)並びに人権HRAのアンケートと「あさのことば」の実施</p>	<p>PL: 人権・同和教育主任 SL: 各学年主任</p>
		<p>①多欠席生徒に対する支援の充実</p>	<p>④各学期始めの職員会議での「あったかハート1・2・3」の全職員への周知徹底とケース会議における関係機関(子育て支援課、児童相談所、SSW、SC)等と連携。SCによる校内研修会(年1回)の実施</p>	<p>PL: 保健・教育相談主任 SL: 各学年主任</p>
※職員の健康増進と適切な勤務の実現	<p>①1か月の時間外在校時間 45時間以内</p> <p>②1年間の時間外在校時間 360時間以内</p>	<p>⑦業務の縮小・効率化と職員のタイムマネジメント意識の向上</p>	<p>①各分掌業務の1スクラップ、ノ一残業デー年間40日以上の実施、各自で週1回の定時退庁日の設定</p>	<p>PL: 教頭 SL: 衛生管理者</p>